

TOKYO SEITOKU

July.2023

NOW

vol.
54

東京成徳学園の“今”を発信する広報誌

特集

“『成徳』の精神を未来へつなぐ。”



つながる学び、ひろがる未来。

学校法人 東京成徳学園

TOKYO SEITOKU



TOKYO SEITOKU NOW

学園の幼児教育



東京成徳学園 理事長
木内 秀樹

本学園は3年後に創立100周年を迎えます。学園の中で最も歴史が古いのは中高ですが、次に幼稚園で70年前の創立です。幼児教育関係では、短期大学に幼児教育科・大学に子ども学部があり、学園の中で幼児教育は重要な位置を占めています。

幼稚園のこれまでの卒園生は13,000人余りを数え、親子三代という方もおいでです。また、幼児教育科と子ども学部では累計で15,000人余りの卒業生を輩出しており、全国各地の幼稚園、保育施設などで活躍しています。同窓会などでお会いすると、年配の方がまだお元気で仕事に従事されている姿に感動します。

毎年新入生のオリエンテーションで、「皆さんが取得する資格(幼稚園教諭・保育士)は、全国どこでも、そして一生通用するものだから、しっかり勉強してください」と話していますが、先輩方がこれを実践されていることで後輩たちの良き目標となります。

日本では深刻な少子化が進行しており、将来仕事が減ることを心配される方もおいでになると思います。しかし、どんな状況になっても自分の子どもにはしっかりとした教育を受けさせることを望みますので、本学で本格的な教

育を受けた学生は、より求められるはずであると確信しています。

また、AIの進化や外国人労働者の流入によって影響を受けるのではないかという点については、「AIがどれだけ進化しても、幼児教育は機械に任せられないし、外国人が日本人にとって代わることもない」と学生に話しています。

幼児教育にはさまざまな教育手法があります。イタリアのモンテッソーリ教育、ドイツのシュタイナー教育、オランダのピラミッドメソッド、アメリカのドーマンメソッドなど、いずれも子どもの自立性を育てることを目的としています。日本でも石井式、ヨコミネ式、七田式など数多くありますが、絶対的なものではなく、その子どもに合ったやり方、子ども自身が興味関心を持って取り組んでくれれば良いのではないのでしょうか。海外の教育手法を絶対的なものとして信奉するのではなく、日本の子どもたちに合わせて、それぞれの幼稚園が実践している教育を保護者が理解し、自分の子どもに合ったやり方を選ぶことが大切でしょう。なお、早期教育という考え方がありますが、これは芸術、運動など専門的な技能の習得を目的とするものを除けば、有名小学校受験のための訓練であり、本来の幼児教育とは異なるものです。私は幼児教育で目指すのは、生涯にわたる人格形成や学習の基礎をつくることと考えています。

学園の成徳幼稚園では、個人の自立性や個性を伸ばすことを尊重しながら、集団の中での協調性、コミュニケー



東京成徳大学・東京成徳短期大学 東京キャンパス(十条)
撮影:写真サークル [左・右上]経営学部経営学科4年/[右下]応用心理学部臨床心理学科2年

ション能力も習得できるよう配慮しています。具体的には、自由保育と一斉保育を組み合わせることにより、小学校での授業にも対応できる習慣を形成していきます。

また、通常保育だけでなく特別プログラムによるカリキュラムを実施しています。これは、大脳生理学の研究で前頭葉の形成が3歳くらいでほぼ完成するとされていることから、この時期から幼児がさまざまな能力を獲得しやすくなることに着目したものです。

年少から音楽リズムとスイミング、年中から体育、そして年長になると絵画造形・英語コミュニケーションがカリキュラムに入ります。それぞれ、大学で専門教育を受けた教員が、年間の指導計画を基に体系的な学びを指導します。例えば、音楽・美術では東京藝術大学を卒業した教員が担当し、英語コミュニケーションはイギリスやアメリカの大学を卒業したネイティブスピーカーが楽しく遊びながら英語に慣れるよう教えています。

音楽リズムの時間は、歌や楽器演奏だけでなく、ソルフェージュ・発声・音符指導など本格的な内容になっています。そして、ピアノホールではグランドピアノの自動演奏で朝に夕に曲が流れます。

特に音楽と英語(聴音)は、幼稚園の年齢時に慣れ親しむことが絶対に有効です。

一方、PCについては、視力の低下やその他問題が解決されていないので、ご家庭でPCやスマホを利用させることに反対はしませんが、幼稚園ではカリキュラムに入れていません。

TOKYO SEITOKU

NOW

「TOKYO SEITOKU NOW」は
1年に2回、東京成徳学園の情報
をお届けする総合広報誌です。

01 巻頭言

03 特集

『成徳』の精神を未来へつなぐ。

— 大学、深谷中高、幼稚園が周年を迎えました —

07 就任のごあいさつ

09 TOPICS

09 国際学部／子ども学部／経営学部

10 応用心理学部／大学院

11 短期大学／中学・高等学校

12 深谷中学・高等学校／幼稚園

13 ひと『活躍する卒業生』

法務省大臣官房

サイバーセキュリティ・情報化審議官(保護局付)

押切 久遠さん

15 進路(進学・就職)

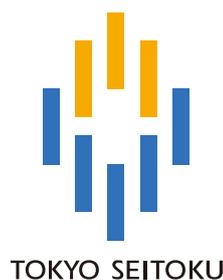
17 クラブ活動報告

18 学園の動き

21 学園の動き・NEWS/ ブランド・ステートメント

23 お問い合わせ先 学園後援会のご案内 読者アンケートのお願い

学園のシンボル・マーク



イエローは「活力」と「勇気」を表し、3本の柱は学生・生徒・園児、教職員、同窓生を象徴しています。ブルーは「理想」と「若さ」を表し、5本の柱は5つの教育目標を象徴しています。そして、8本の柱が一体となり、東京成徳学園とその学園に集う人々のヒューマンティニーを作り上げる姿を表現しています。

“ 特集 『成徳』の精神を未来へつなぐ。 ”

— 大学、深谷中高、幼稚園が周年を迎えました —



東京成徳学園は、各校、周年を迎えることができました。
『成徳』の精神を未来につなぎ、
価値あるブランドとして飛躍してまいります。

東京成徳大学 開学30周年



学長 吉田 富二雄

『成徳』の精神でAI時代に挑む

東京成徳大学は、全学部の新キャンパス(十条)統合、認証評価、そして教学・学生情報システムの更新を昨年度に終え、現在「開学30周年」を迎えて新たなステージへ進もうとしています。折しも2020年から、私たちの社会は「情報化社会」の次の段階、「AI(人工知能)社会」へ足を踏み入れたといわれています(Society5.0)。そして近年『AI社会』がいよいよ現実味を帯びてきました。例えば翻訳アプリDeepLや(文章)生成系AIのChatGPTの出現。DeepL(ディープエル)は、2020年公開のAIを利用した翻訳サービス。従来の翻訳より格段に精度の高い自然な翻訳ができるため専門家も含め多くの方が利用しています。海外のサイトへつながることで多くの情報がリアルタイムで手に入り「言葉の壁」がとて

も低くなったと感じます。

加えて昨年11月、人と自然な会話を行う対話型の人工知能アプリ、ChatGPT(チャットGPT)が公開されました。GPTは人工知能の技術に基づき、ネット上にある膨大な情報を組み合わせて、ユーザーの質問や指示に自然な言葉で回答するサービスです。公開からわずか5日で100万人、2か月で1億人とユーザー数が爆発的に拡大。さらに画像や音声生成系AIも現れ、革命的ともいわれる進化は現在も進行中です。

こうした急激な変化は、当然、社会にも大学教育にも大きな影響を及ぼすと考えられます。本学は、急激な時代の変化を『未来の成徳』への発展の好機と捉え、柔軟かつ積極的な意識で新たな時代に挑戦します。

大学HPで
30周年特設サイトを
公開中。



東京成徳大学 30周年の歩み

4学部5学科1研究科 開学30周年
 在学生2,056名、**2023**
 卒業生9,488名 (5/1現在)

開学時(千葉県八千代市)



応用心理学部健康・スポーツ心理学科を東京キャンパス(十条)に移転
 ブランド・ステートメント、タグラインを策定

東京キャンパス(十条)の新校舎が竣工(6号館)
 国際学部国際学科を設置

応用心理学部臨床心理学科と大学院を
 東京キャンパス(十条)に移転

大学本部所在地を
 東京キャンパス(十条)に移転

人文学部に観光文化学科^{※3}を設置

応用心理学部を設置し、
 福祉心理学科^{※2}、臨床心理学科を移設

子ども学部子ども学科を設置

東京キャンパス(十条)の
 新校舎が竣工(現、1・2号館)

大学院心理学研究科に
 博士後期課程を設置

人文学部の日本語・日本文化学科を日本伝統文化学科^{※1}、
 英語・英米文化学科を国際言語文化学科^{※2}に改組

人文学部に臨床心理学科を設置

大学院心理学研究科を設置

東京成徳大学(千葉県八千代市)開学、入学者259名
 人文学部日本語・日本文化学科、英語・英米文化学科、福祉心理学科を設置



30th

現在(東京都北区)

※1: 2023廃止 ※2: 2022廃止 ※3: 2017廃止

NEW

東京成徳大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による 令和4年度大学認証評価の結果、適格と認定されました

学校教育法により、大学は教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに文部科学大臣の認証を受けた評価機関によって認証評価を受けることが義務付けられています。本学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による令和4年度大学機関別認証評価の結果、機構が定める評価基準を満たしていることから、2023年3月14日付で「適合」と認定されました。



東京成徳大学深谷高等学校

開校60周年 &

東京成徳大学深谷中学校

開校10周年

開校時(1963)



開校初期



現在



60th &
10th

深谷校のさらなる発展を目指して

深谷高等学校は1963(昭和38)年に創設以来、その歩みを着実に重ね、今年創立60周年を迎えました。これまで本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げます。この間、特進コース設置、共学化、Fアリーナ建設、中学校開設、人工芝グラウンド整備など時代の変化に合わせて、本校は充実・発展を遂げてまいりました。中学校も創立10周年を迎え、未来を見据えた特色ある教育を展開しております。

社会が大きく変化し予測困難な時代となった今、主体的に社会に関わり、多様な人々との交流を通じて新たな価値を創造し、人生や社会の未来を切り拓くことのできる力を育成することが重要です。これまで本校は、建学の精神のもと、生徒一人ひとりの良さを最大限に伸ばす指導を進めてまいりました。今後とも、**東京成徳ビジョン100**に掲げた目標の実現に向けて教育の一層の充実を図り、本校のさらなる発展を目指し全力で取り組んでまいります。



深谷中高校長 石川 薫

成徳幼稚園 開園70周年

開園初期



開園初期



成徳幼稚園70周年にあたって

1953(昭和28)年の開園からおかげさまで、2023年で70周年を迎えました。70年もの長い期間、本園が運営できてこれたのも、開園当初から保護者・卒園生の皆さまはもちろん、地域の皆さまよりご支援・ご協力をいただいた賜物であると感じております。皆さまに心より御礼申し上げます。

人が成長していく過程で、幼稚園を過ごす年代の幼児期はとても大切な時期です。身体だけでなく心、精神を育てることが

必要で、本園では長年その環境づくりに取り組んでまいりました。昨年新園舎の建て替えと園庭の整備を行い、教育環境は一層向上しています。これからも先人の良き教え・伝統、学園の歴史を活かしながらも、さらに子どもたちの未来のためにより良い教育内容・環境を提供するべく、進化を続ける決意しております。皆さまにはこれからも温かく見守りいただき、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



園長 木内 秀樹



現在

100th ANNIVERSARY

2026

TOKYO SEITOKU GAKUEN

2026年の学園創立100周年に向けて

1926年に王子高等女学校から始まった東京成徳学園は、大学、大学院、短大、高校、中学、幼稚園を擁する総合学園にまで発展しました。今年度は大学、深谷中高、幼稚園が節目の周年を迎え

ましたが、これもひとえに皆さまのご理解、ご支援の賜物です。さらに、2026年学園創立100周年という、次のステージへ進むべく、教職員一同、一丸となってまい進してまいります。

東京成徳大学



子ども学部長 塙 和明

子ども学部のご支援、お願い申し上げます

このたび、子ども学部第3代目の学部長に就任いたしました塙です。学園に奉職し、ちょうど今年で40年目を迎えるこの節目の年に大役を任され、身の引き締まる思いでいっぱいです。短期大学幼児教育科専任講師として職を拝した頃は、幼教(略称)だけで1学年400名近くの入学生がおり、毎年、他科の受験生も合わせると受験会場(教室)が足らず、体育館に多数の机と椅子を持ち込みながら試験監督を行なったという思い出があります。残念ながら、近年は18歳人口の減少とともに、さらに高校生の大学進学率の頭打ちの傾向も見られ、現に所属する子ども学部でも志願者数の漸減状況が続いています。幼小時期の教育・保育に関して、他大学とは一線を画す実績のある子ども学部ではありますが、今後の発展のためには学園関係の皆さま方より一層のご協力、ご支援を賜りたいと考えています。

東京成徳大学深谷中学・高等学校



校長 石川 薫

深谷校の一層の充実に向けて

4月より深谷中学高等学校の校長として就任いたしました石川薫です。どうぞよろしくお願いたします。3月まで埼玉県教育局で行政の仕事をしていましたので、久しぶりに学校での勤務となり、大変うれしく思っております。

現在、歴史と伝統ある深谷校の校長としての重責を感じながら、生徒たちと共に充実した毎日を送っております。明るく素直な生徒が多く、校内には笑顔とあいさつがあふれており、教職員も日々熱心に指導にあたっています。社会が大きく変化し予測困難な時代、子供たちの資質能力をしっかりと育成することが教育の使命であると考えております。成徳の建学の精神のもと、これまで培ってきた本校の素晴らしい教育を大切にしながら、ICT活用や探究活動、グローバル教育など、これからの時代に求められる新たな教育の一層の充実に向けて努力してまいります。



健康・スポーツ心理学科長
出雲 輝彦

TSUアイデンティティの確立に向けて

WBCで侍ジャパンは優勝しました。多くの人々が自分のことのように喜んだことでしょう。私は、本学に連なる全ての人に「TSUアイデンティティ」が確立されることを望んでいます。本学に愛着を抱き、TSUファミリーの活躍を誇りに思えるようになってほしいのです。そのためには、各学部・学科の“強み”が文化として根づいており、そのような環境のもとで大学生活を過ごす必要があります。

学科長として、「健スポに入学して良かった」と実感してもらえるようなマネジメントを心がけ、さまざまな工夫を凝らしていきたいと考えています。そして、健スポを起爆剤として大学全体の活性化も図り、所期の望みを叶えたいと思います。



子ども学科長
富山 尚子

就任のごあいさつ ～子ども学部と共に～

本年4月1日より、子ども学部子ども学科学科長に就任いたしました。

2004年4月に初めての新生を迎えてスタートした子ども学部は、おかげ様で来年20周年を迎えます。私自身もご縁をいただきまして、開設時より教員として勤めさせていただいております。

子ども学部には、教育学、保育学、心理学、音楽などさまざまな分野の教員が集まっており、子どもやその周りの人間を多面的に見る目を育てることを大切にしております。学生一人ひとりがこの先の人生で自分らしく、長く活躍できる力を得るために、知識を身につけ、そして身につけた知識を実際に活用する力を養えるよう、甚だ微力ではございますが、これからも努力してまいりたいと思います。



経営学科長
樋口 徹

経営学分野からの成徳

2023年4月から経営学科長に就任いたしました樋口徹です。私は経営学を研究・教育する立場にあり、普段は金銭的利益や目的の確実かつ効率的な達成に向けた話をしております。そのような私が『成徳』を建学の精神とする東京成徳学園において学科長という重要な役割を担うことは身に余る重責でございます。しかし、近年、経営学において多様な利害関係者にバランス良く適切な配慮をすることが、長期安定的な利益を確保するための最重要な要素の1つと認識され、重要視されるようになっております。今後の経営学において徳が重要な概念となっていくでしょう。経営学科から一人でも多くの徳を成す人財を輩出できますように精いっぱい努力をする所存です。

東京成徳大学 国際学部

1年生がJICA地球ひろばでSDGsを体験学習

5月13日(土)に国際学科の1年生は「グローバルスタディーズ入門」の校外学習の一環として市ヶ谷のJICA地球ひろばを訪問し、2時間の学習プログラムに参加しました。本プログラムは同ひろばの体験ゾーンでの学習およびJICA海外協力隊に参加した隊員による体験談により構成され、各1時間合計2時間行われました。体験ゾーンではSDGsに関するさまざまな常設展示および企画展示「世界をめぐる!サステナブルな優しい観光展」を通じ地球規模のさまざまな課題や持続的な観光振興について学習しました。また、ボランティア体験談を通じ、開発途上国の人々の生活やボランティア活動について学習しました。

国際学部長 芳賀 克彦



東京成徳大学 子ども学部



150人で作る鯉のぼり

主に1年生が履修する基礎造形Iでは、保育の中で子どもと一緒に造形表現を楽しむための経験と技術・知識を学びます。4月～5月の授業では、絵の具遊びから和紙(障子紙)を染め、履修者約150名が染めた和紙をつなぎ合わせて2mを超える大きな鯉のぼりを作り、3号館の空間に飾りました。クラスごとに全員で協力して、それぞれ個性ある表現が楽しい作品作りが経験できました。協力して表現を形にする楽しさの体験や、季節の行事を活動に取り入れた経験は子どもの育ちにとって大切な役割があります。授業での経験が将来の保育実践に活かされることを期待しています。

子ども学部准教授 藤田 寿伸

東京成徳大学 経営学部

東京成徳チアラジ

経営学部では、2021年度より江東区の「レインボータウンFM」と提携して、学生によるラジオ放送を実施しています。題して「東京成徳チアラジ」。これはラジオ放送を通じて、「リスナーをcheer up!」していこうという趣旨で、学生たちが企画したものです。放送内容は、①科目「インターンシップ」での企業派遣の経験談や企業様からのお言葉、②福島県相双地域における就業体験研修の学び、③エンターテインメントのもたらす付加価値(エンターテインメントを学んでいる板生ゼミによる企画)などです。公共放送への出演は緊張するものですが、学生が熱心に取り組む様子が印象的でした。

経営学部教授 鈴木 誠二



応用心理学部

東京成徳大学 臨床心理学科

2名の教員を迎えて新年度をスタート

112名の新入生を迎え、オリエンテーションでは体育館で全教員との顔合わせを実施しました。ボランティア上級生も企画を支援してくれました。新年度は新たに2名の教員を迎え、沢宮容子教授は臨床心理学、カウンセリング心理学、認知行動療法がご専門です。国家資格公認心理師制度の充実に尽力されており、学科では「公認心理師の職責」も担当されます。また堤孝晃准教授が本学科に加わりました。社会学がご専門で、従来から担当されているキャリアデザインなどの科目以外に「社会調査演習」にも加わっていただきます。学科の教育内容の充実に努めていく所存です。

臨床心理学科長 一谷 幸男



応用心理学部

東京成徳大学 健康・スポーツ心理学科



卒業生と4年生が学会発表を行いました

日本感情心理学会第31回大会(5月27~28日、愛媛県松山市)にて、関谷ゼミ卒業生(2022年度卒)1名と4年生3名が卒業研究の成果を発表しました。4年生3名はポスター発表45分間の持ち時間中、質疑の人だかりが途切れず、発表資料の送付を求められる学生もいました。また、卒業生は講堂にて15分間の口頭発表を実施し、著名な先生方からの質疑にも対応しました。全国から集まった研究者や大学院生に混ざって、緊張しながらも堂々とした卒業生や4年生の学会発表への挑戦は、多くの他大学の教員からも非常に高い評価を受け、発表した本人にも極めて貴重な経験になったようでした。

健康・スポーツ心理学科准教授 関谷 大輝

東京成徳大学大学院 心理学研究科

大学院での貴重な2年間を終えて

教育分野で心のケアに携わりたいと考えて大学院に入学し、忙しくも充実した2年間を過ごしました。これまでの人生で、一番自分自身と向き合った期間だったと感じます。現在はNPO法人職員として、学習支援や居場所支援、放課後等デイサービス事業、SNS相談など、さまざまな業務に携わっております。子どもたち一人ひとりにあった支援を考えていく中で、情報を整理し、仮説検証するよう心がけています。こうしたアセスメントは、大学院時代の授業や実習、受理・事例会議などで鍛えられたと感じています。これからも自己研鑽を怠らず、良い支援とは何か考え続けていきたいと思えます。

臨床心理学専攻 修士課程 2022年度修了生 春本 由愛
(NPO法人ダイバーシティ工房 アウトリーチ事業部スタッフ)



1番左が春本さん。左から2番目は石隈研究科長。

東京成徳短期大学

新入生学外研修を野外で日帰り実施

毎年実施してきた新入生学外宿泊研修は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3年間中止続きでした。そこで、今年は感染状況に左右されにくい日帰りの野外研修を計画し無事に実施できました。快晴の空の下、野外炊事、親睦交流、自己や他者を知る、チームビルディング、子ども目線で遊ぶなどの多様なアクティビティを通して、学生同士や教員との親睦、団体行動や社会人としてのマナー、多様性の理解、豊かな自然に触れる感性、食体験からの食育意識などを体験学修しました。保育者として学び始めたばかりの新入生の歓声や笑顔から、見守る教員にとっても教育効果が実感できる良い機会となりました。

幼児教育科教授 磯部 知愛



東京成徳大学中学・高等学校 中高一貫部



東京成徳大学中学高等学校入学式

2023年4月5日に第77回(26期生)の入学式が執り行われました。新入生101名は真新しい制服に身を包み、「希望」と「可能性」をそれぞれの胸に秘めて、東京成徳大学中学校に新しい風を吹き込んでくれました。小気味良い緊張感の中で、不安な気持ちを抱きながらも一人ひとりのまなざしには6年間の展望を力強く見つめる確かなものを感じることができました。入学者呼名では一人ひとりのはっきりと返事をして、入学した実感をかみしめていました。新入生代表の誓いの言葉では、中学生となった決意を表明し、また中学生徒会長から歓迎の言葉もありました。今後の学校生活に確かな期待と確固たる意志を持って入学式を迎えることができました。

第1学年主任 安田 一平

東京成徳大学高等学校 高等部

高等部高2 沖縄修学旅行

2023年2月15日から1班が、16日から2班が沖縄に向けて出発しました。2019年以来の沖縄への修学旅行でした。出発前には参加生徒・教員全員にPCR検査を実施しました。全員の陰性の連絡を受けた時、思わずガッツポーズが出たことを覚えています。前半の「平和学習」では、太平洋戦争下の「沖縄戦」を知ることができました。後半は「沖縄の魅力に触れる」ということで、希望別体験学習などを通じて、沖縄の魅力を感じることができました。生徒の感染対策への意識もあり、通院を要する体調不良者が出なかったこと、何よりも連日の晴天により、沖縄の青い空や海を存分に楽しめたことは本当にかげがえのないものになったと感じております。

高3学年主任 西山 喜三男



東京成徳大学深谷中学・高等学校 中高一貫コース

長距離ハイキング

4月28日(金)に、中高一貫コースでは寄居町ふるさと歩道ハイキングコースを歩く長距離ハイキングを実施しました。中学生は昼食場所である中間平緑地公園を目指す20kmの行程でした。公園までは急勾配が続く山道となっていますが、友人と励まし合いながらそれぞれのペースで歩きました。天気にも恵まれ、昼食休憩時には公園からの素晴らしいパノラマを眺めることができました。高校生はさらに円良田湖を巡る10kmを追加した30kmの行程でした。途中で蜂の大群と遭遇し、車でピストン輸送をするハプニングがありました。こちらも全員無事に下山することができました。

中高一貫コース長 川瀬 貴恵



東京成徳大学深谷高等学校



木島平校外学習

4月20日(木)から2泊3日、長野県木島平村において、高校1年生(進学・進学選抜・特進Sコース)が校外学習を実施しました。コロナ禍の影響で4年ぶりの実施となりました。この校外学習では、オリエンテーリングやカレーライス作り、そば打ちなどに取り組み、クラス内はもちろんのことクラスを越えた仲間作りができました。また、時間を守り、マナー良く行動しようという姿勢が随所に見られ、集団生活の規律を学ぶという目標も十分達成できたと思います。さらに、地元の方による民話に耳を傾けたり、太鼓演奏の鑑賞と体験を通して、地元の文化にも触れることができました。

第1学年主任 野平 貴史

成徳幼稚園

芝生の園庭で戸外遊びを楽しむ園児たち

2022年3月に天然芝の園庭も整備され、新しい園舎が完成しました。学びと遊びを毎日楽しく過ごせるよう、健康的な保育環境が整い、樹齢50年の大きなシンボルツリー(クスノキ)が見守る中、元気に走り回る子どもたちの笑顔と歓声が、新園舎に広がっています。

4月入園の年少組の子どもたちも少しずつ園生活に慣れ、友達と戸外遊びを楽しんでいます。お兄さんお姉さんの年中・年長組も、春には黄色いミモザの花にピンク色のしだれ桜、秋には大きい実の成る柚子の木や、枝に雪が積もってクリスマスツリーのように見えるブンゲンストウヒの木を眺めるなど、自然を感じながら遊んでいます。

教頭 梶山 久美子



非行や犯罪をした人の再犯防止・更生保護
その政策立案等を担当しながら、
大学院で専門分野の研究を深める。

法務省大臣官房

サイバーセキュリティ・情報化審議官(保護局付)

※取材当時

押切 久遠さん

OSHIKIRI HISATOO

東京成徳大学大学院

心理学研究科 臨床心理学専攻 博士後期課程(2023年3月修了)

博士(心理学)・公認心理師・臨床心理士

1988年中央大学法学部卒業後、法務省に入り更生保護関連の業務に従事。勤務の傍ら、1998年筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻修了、2023年東京成徳大学大学院心理学研究科博士後期課程修了、博士(心理学)取得。法務総合研究所研究官、保護観察所長、保護局総務課長などを経て、省全体のサイバーセキュリティ・デジタル化と、再犯防止・更生保護分野の政策立案を担当。

過ちを犯した人の再非行や再犯を防ぐ 保護観察官として

「保護観察官」という仕事をご存じでしょうか。非行や犯罪をして裁判所で保護観察の処分を受けた人や、少年院からの仮退院者、刑事施設からの出所者などを指導・支援する国家公務員です。私は法務省に入省後この保護観察官として、保護司をはじめとする地域の民間協力者や関係機関と協力しながら、過ちを犯した多くの人と向き合い、その立ち直りと再非行・再犯の防止などに取り組んできました。

この過程で、過ちを犯した人に寄り添いながら専門的な指導や援助をすることの大切さを実感。30代で筑波大学の夜間大学院に入学し、カウンセリングの修士を取得しました。

それから20年。更生保護分野の実践や政策立案を主要業務とする中で、「直面している課題の解決に役立つ

研究をしたい」という気持ちが再び強く湧いてきました。そんな時に修士課程時代の恩師であり、東京成徳大学大学院の心理学研究科長である石隈利紀先生からお声をかけていただきました。学術面ではもちろん、人間的にも大変尊敬する恩師のもとで存分に研究したいと思い、大学院博士後期課程に入学しました。

現実の課題を抱えながらその解決に役立つ 研究をする、素晴らしい学びの時間

本学で私が向き合ったテーマは薬物事犯者への対応です。薬物事犯者は再犯率が高く、その背景には薬物依存症の問題があります。これまで私自身が関わってきた薬物事犯者の実態なども踏まえ、その認知傾向や薬物依存症から回復するために必要なプロセス、さらには彼らをサポートする民間ボランティアである保護司の役割・重要性などについて考究しました。

平日は仕事、休日は博士論文に取り組む日々は充実し

東京成徳学園で学ぶ皆さんへメッセージ

更生保護の分野においては、地域の方々とのつながりが欠かせません。だからこそ私自身「一“所”懸命」でありたいと思って取り組んできました。今いる場所で、家族や友人など身近な人を大切に、地域をより良くするために活動をする。それが良い社会、そして良い世界につながっていくように思いますし、東京成徳学園の『成徳＝徳を成す』の精神もまさにそうではないでしょうか。福祉や心理など対人援助に関する学科が充実している大学、短大、大学院はもちろん、他の学科、高校、中学、幼稚園でも、学園の素晴らしい学びの環境を活かして、グローバルな視点を持ちながら、身近な人との絆を大切に育んでいただきたいと思います。

宮本武蔵は“天才ならざる凡質を磨く”という考えを持っていたとされています。秀でた才能があるわけではない私自身、この言葉に励まされてコツコツと取り組んでくることができたなあと振り返っています。



ており、研究で得た知識が仕事に役立ったり、仕事の中から研究のヒントをもらったり…ということの繰り返しで、まさに実践と研究が紐づく醍醐味を感じていました。一方で、両立は決して簡単ではなく、心が折れそうになることもありました。そんな中、共にゼミで学ぶ仲間にはまさに同志で、何度も励まされました。石隈先生から個別に指導していただく時間も大変貴重でした。修了式で吉田学長や石隈先生から「よく頑張りましたね」とお言葉をかけていただき、安堵するとともに、誇らしい気持ちでいっぱいだったことを覚えています。石隈先生とは、これまでに先生編集の著書『教育・学校心理学』での分担執筆や、先生が委員を務められた文部科学省の『生徒指導提要』の改訂作業への参加など、関わりを持たせていただいています。そういったつながりと大学院での学びを、今後も活かしていきたいと考えています。



上：ご自身の執務室に貼られたポスター『“社会を明るくする運動”#生きづらさを生きていく。』を説明する押切さん。

左：更生保護のマスコットキャラクター、更生ペンギンのサラちゃんとホグちゃん。

大学・短期大学の就職・進路

2022年度大学・短期大学卒業生の就職活動および進路状況

大学生活の大半をコロナ禍で過ごした2022年度卒業生は、就職活動においても新型コロナウイルスの影響を受けましたが、大学全体として進路決定率・就職決定率とも前年を上回る結果となりました。また、学生の就職先も多岐にわたっております。

企業の採用活動においては、コロナ禍の対応として、多くの企業でオンラインを活用する動きが一般的になりましたが、2022年度は企業の選考プロセスの一部がオンライン実施から対面回帰する傾向が見られました。これは、経済活動の回復とともに、企業の採用意欲にも回復の兆候が見られ始めたことに伴い、企業が学生たちと対面での接触を望むようになったためと思われる。さらに、優秀な人材を確保するために企業と学生とが接触する時期や採用活動の進み方が例年よりも前倒しになり、採用活動の「早期化」が見られました。

そのような中、本学では就職支援担当教員とキャリア支援課職員が連携し協働して学生の就職支援に取り組んでおります。今後も学生の就職活動をめぐる環境は変化していくことが予想されますが、一人ひとりの学生の状況を把握しながら、個々の学生のニーズに沿ったきめ細かい支援を行ってまいります。

就職支援センター長 稲垣 久美子

主な進路先 (民間企業等は五十音順)	
大学	【民間企業等】 あいおいニッセイ同和損害保険、Earth Technology(株)、アパホテル(株)、アルテンジャパン(株)、(株)飯田産業、(医)IMSグループ、(株)ATGS、岡本(株)、オリンパスマーケティング(株)、コカ・コーラボトラーズジャパンベンディング(株)、さわやか信用金庫、サムスン電子ジャパン(株)、ジョルジオ アルマーニ ジャパン(株)、積水ハウス(株)、(株)ZOZO、大樹生命保険(株)、東京キリンビバレッジサービス(株)、(株)東京個別指導学院、東京シティ信用金庫、(福)東京都社会福祉事業団、(公)東京都障害者スポーツ協会、東京東信用金庫、(株)東京早稲田外国語学校、(株)東和銀行、トランス・コスモス(株)、NAX JAPAN(株)、パラマウントケアサービス(株)、福島さくら農業協同組合、フコク情報システム(株)、(株)ベストプライダル、(株)ベネッセスタイルケア、丸三証券(株)、(株)モンクレーンジャパン、日本生命保険相互会社、日本交通(株)、明治商工(株)、レインボータウンエフエム放送(株)
	【公務員 (教職・保育職以外)】 土浦市職員、三沢市職員、東京消防庁、警視庁
短期大学	【教職保育職】 小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、児童館、施設等
	【民間企業等】 (株)アイビーシステムズ、(株)ドミノ・ピザジャパン

2022(令和4)年度卒業生進路状況 ()は前年度

$$\text{進路決定率} = \left(\frac{\text{就職決定者} + \text{進学決定者}}{\text{卒業生}} \right)$$

大学全体	人文	国際	応用心理	子ども	経営	短期大学
89.6% (87.1%)	33.3% (89.2%)	95.2% (-)	85.9% (80.9%)	97.2% (96.5%)	85.9% (82.1%)	91.7% (95.7%)

$$\text{就職決定率} = \left(\frac{\text{就職決定者}}{\text{就職希望者}} \right)$$

大学全体	人文	国際	応用心理	子ども	経営	短期大学
98.0% (97.9%)	50.0% (96.0%)	100% (-)	95.3% (88.3%)	100% (100%)	98.5% (95.8%)	100% (100%)

※人文学部は2019年度入試より募集停止
 ※国際学部は2022年度に1期生卒業



詳細は本学ホームページをご覧ください



高等学校の進学

東京成徳大学高等学校

●高等部 高等部における進路指導の取り組み

2022年度の卒業生321名のうち、進学者は273名でした。その内訳は、大学248名、短大1名、専門学校24名です。

高等部では、合格の可能性を高めるため、生徒一人ひとりに合った受験指導を行います。一般選抜にこだわらず、高校で得た知識や経験を武器に、総合型選抜や学校推薦型選抜にも多数出願しました。学校推薦型選抜(公募制)においては、多くの先生方に面接指導に携わっていただき、合格率を上げることができました。特に国公立大においては、後期入試の縮小化に伴い、第1志望校への受験機会を確保する意味でも、積極的に学校推薦型選抜(公募制)を出願させました。その結果、筑波大学に3名、電気通信大学に1名、埼玉県立大学に1名合格することができました。

今後も生徒の進路希望や学力などを総合的に考え、多種多様なニーズに答えられる進路指導をしていく所存です。

高等部 進路指導部長 平川 元喜

東京成徳大学高等学校 2022(令和4)年度 主な合格実績	
国公立大学(準大学含む)	16名
東京外国語 筑波 お茶の水女子 千葉 電気通信 東京農工 東京学芸 埼玉 宮崎 北見工業 東京都立 埼玉県立 高崎経済 など	
難関私立大学	145名
早稲田 慶應義塾 上智 東京理科 明治 青山学院 立教 法政 中央 学習院	
海外進学	2名
南オーストラリアAU ハンバーカレッジCA	
併設の大学・短大	10名
東京成徳大学 (高等部・中高一貫部の合計・浪人含む 延べ人数)	
※高等部・中高一貫部それぞれの合格実績は各HPをご覧ください	

●中高一貫部 一人ひとりに寄り添った進路サポートへの挑戦

今春の卒業生95名のうち、86名の生徒が進学先を決めました(国立大学5名、併設大学3名、他大学70名、専門学校5名、海外進学2名)。さらに、このうち、併設大学3名を含め75名の卒業生が第1志望校を勝ち取りました。海外進学者の2名は、卒業前に進学先を決め、語学学校を経ずに直接入学します。英語力はもちろんのこと、中高6年間の学校生活で得たさまざまな経験が活かされていたと感じています。浪人生の9名は全員予備校に通い、良いスタートを切っています。卒業後も連絡を取り合い、進路サポートを継続していきます。また、今春の卒業生は中高一貫部20期生の節目の代でもあり、現在、1期生から19期生までの卒業生にも連絡を取り始めました。早くもたくさんの卒業生から就職などの現状報告とともにあたたかいメッセージが届き、次年度への活力となっています。

中高一貫部 進路指導部長 吉川 直樹

東京成徳大学深谷高等学校

2022年度の深谷校卒業生数319名の進路状況は、大学192名、短大22名、専門学校84名、就職11名、浪人4名、その他6名でした。前年度に増加していた専門学校への進学者が減少し、例年通りの進学割合という結果となりました。

昨年に引き続き、安全志向から年内入試を希望する生徒が多い状況です。今年度は総合型選抜や学校推薦型選抜でも他大学との併願を可とする大学が増加したことにより、年内入試で合格を取り安全を確保したうえで、一般選抜でさらに上位の大学への合格を目指す生徒が多く見られました。

次年度に共通テストを含めた大きな入試変更を控えていますので、本校ではこれからの入試情報に注意しながら、生徒の目標実現につながる適切な出願指導を行っていきます。

進路指導部長 木村 哲久

東京成徳大学深谷高等学校 2022(令和4)年度 主な合格実績	
国公立大学	5名
東京学芸 埼玉 群馬 群馬県立女子	
私立大学	300名
早稲田 上智 明治 青山学院 立教 中央 学習院 成蹊 明治学院 武蔵 順天堂 國學院 東洋 駒澤 専修 日本 獨協 など	
併設の大学・短大	9名
東京成徳大学(5名) 東京成徳短期大学(4名)	
(浪人含む 延べ人数)	

CLUB ACTIVITIES REPORT

クラブ活動報告 2022年10月～2023年3月

世界 世界大会進出 全国 全国大会進出 関東 関東大会進出

● 東京成徳大学

男子バスケットボール部 BASKETBALL

第98回 関東大学バスケットボールリーグ戦
2部・10位(7勝15敗) / 2部・3部入替戦-2部残留(2勝1敗)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

第72回 関東大学女子バスケットボールリーグ戦
3部・14位(Aブロック7位) / 3部・4部入替戦-4部降格

ダンス部 DANCE

第42回 全国創作舞踊研究発表会(千葉大会)出場



バドミントン部 BADMINTON

令和4年度 東京都高等学校バドミントン新人大会 東ブロック
男子団体-ベスト8

演劇部 THEATRICKS

第64回 東京私立中学高等学校演劇発表会(TOKYOドラマフェスタ)
演出特別賞

書道部 SYODO

第63回 全国書道展(大東文化大学主催)
半紙の部-全国書美術振興会賞(高2) / 団体-全国書道高等学校協議会賞

第59回 全国読書大会(公益社団法人創玄書道会主催)
大会会長賞(高3-1名、高2-2名) / 毎日新聞社賞(高3-1名) / 優秀団体賞

第59回 創玄展 二科賞(高3-1名) / 準二科賞(高3-1名、高2-2名)

その他 OTHERS

第10回 SAGE JAPAN CUP
SDGs賞(高1 中高一貫部ゼミ:5名 チーム「ステラ」)

● 東京成徳大学高等学校 (都ベスト16以上)

男子バスケットボール部 BASKETBALL

令和4年度 東京都高等学校男子バスケットボール新人大会 ベスト16

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和4年度 東京都高等学校バスケットボール選手権大会 準優勝 **全国**

SoftBank ウィンターカップ2022
第75回 全国高等学校バスケットボール選手権大会 ベスト8

令和4年度 東京都高等学校バスケットボール新人大会 優勝 **関東**

第33回 関東高等学校バスケットボール新人大会 優勝

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

第20回 中高生女子ラクロス秋季関東大会(Autumn Cup 2022) 3位

中高女子ラクロス関東新人戦(Winter Open 2022) 優勝

第14回 全国中学高等学校女子ラクロス選手権大会 3位

バトントワリング部 BATON TWIRLING

第57回 バトントワリング関東大会
コンテストの部 学校部門 高等学校の部 バトン編成
金賞 **全国** / 千葉県知事賞受賞 / ノードロップ賞

第50回 バトントワリング全国大会
コンテストの部 学校部門 高等学校の部 バトン編成
金賞 / ノードロップ賞

2022 Japan Cup マーチングバンドバトントワリング全国大会日本選手権
高等学校バトントワリングの部-優勝 /
オープンバトントワリングの部-優勝 /
高等学校個人スポーツダンス部門-3位(高3)

卓球部 TABLE TENNIS

令和4年度 東京都高等学校新人卓球大会
男子団体-ベスト8 / 女子団体-ベスト12

男子テニス部 TENNIS

第47回 東京都私立中学高等学校テニス選手権大会 団体-ベスト16

女子テニス部 TENNIS

令和4年度 東京都高等学校新人テニス大会 団体-ベスト16

第47回 東京都私立中学高等学校テニス選手権大会 団体-ベスト16

● 東京成徳大学深谷高等学校 (県ベスト16以上)

サッカー部 SOCCER

第101回 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県予選会 準優勝

令和4年度 県民総合スポーツ大会兼埼玉県高校サッカー新人大会
ベスト4

パワーリフティング部 POWER LIFTING

第84回 埼玉県パワーリフティング選手権大会(高等学校の部)
男子:53kg級-3位(高2) / 59kg級-6位(高2) / 74kg級-3位(高2)
女子:47kg級-優勝(高2)、3位(高2) / 52kg級-準優勝(高2) /
63kg級-優勝(高1)、準優勝(高1) / 69kg級-優勝(高2)

第28回 サブジュニアジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会
女子:47kg級-優勝(高2) **世界** / 63kg級-優勝(高1) **世界** /
69kg級-優勝(高2) **世界**

第20回 全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会
男子:53kg級-4位(高2) / 59kg級-4位(高2) / 74kg級-6位(高2)
女子:47kg級-準優勝(高2) / 63kg級-準優勝(高1)

弓道部 KYUDO

令和4年度 県民総合スポーツ大会兼高校弓道新人戦
男子団体-8位(Aチーム)

第22回 東日本高等学校弓道大会 女子の部 -5人制および3人制出場

卓球部 TABLE TENNIS

令和4年度 県民総合スポーツ大会兼埼玉県高等学校新人卓球大会
男子学校対抗-ベスト16

女子テニス部 TENNIS

第17回 埼玉県高校1年生チーム対抗戦 決勝トーナメント-ベスト8

写真部 PHOTO GRAPH

第39回 埼玉県高等学校総合文化祭高校写真展
自由部門-最優秀賞(高3) (関東地区写真展出品) **関東**

● 東京成徳大学中学校 (都ベスト16以上)

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

(東京成徳大学高等学校のラクロス部参照)

2022(令和4)年度 学校法人東京成徳学園 決算概況

法令に基づき、大学等の設置者である学校法人は、当該事業年度における決算関係書類および事業報告書を作成し、これを広く公開することが求められています。本学においては、理事会・評議員会での承認を経て、財務状況ならびに事業報告に関する情報公開を、項次、ホームページに掲載することとしております。本誌では、誌面の都合上、財務状況の概要を掲出します。

東京成徳学園全体の卒業・入学・在籍数

2022年度	卒業者数	1,504人(累計131,759人)
2023年度	入学者数	1,571人(前年比+24人)
在籍学生・生徒・園児の総数		4,980人(前年比△84人)

資金収支計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
収入の部	
学生生徒等納付金収入	3,932
手数料収入	100
寄付金収入	19
補助金収入	1,758
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	0
受取利息・配当金収入	0
雑収入	197
借入金等収入	2
前受金収入	787
その他の収入	430
資金収入調整勘定	△ 923
前年度繰越支払資金	7,735
収入の部 合計	14,037
支出の部	
人件費支出	3,637
教育研究経費支出	1,111
管理経費支出	330
借入金等利息支出	17
借入金等返済支出	242
施設関係支出	94
設備関係支出	89
資産運用支出	100
その他の支出	492
資金支出調整勘定	△ 228
翌年度繰越支払資金	8,152
支出の部 合計	14,037

事業活動収支計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
収入	
学生生徒等納付金	3,932
手数料	100
寄付金	5
経常費等補助金	1,734
付随事業収入	0
雑収入	198
教育活動収入計	5,970
人件費	3,614
教育研究経費	1,981
管理経費	402
徴収不能額等	6
教育活動支出計	6,003
教育活動収支差額	△ 33
外収支	
収入 教育活動外収入計	0
支出 教育活動外支出計	17
教育活動外収支差額	△ 17
経常収支差額	△ 50
特別収支	
収入 特別収入計	42
支出 特別支出計	0
特別収支差額	41
基本金組入前当年度収支差額	△ 8

貸借対照表

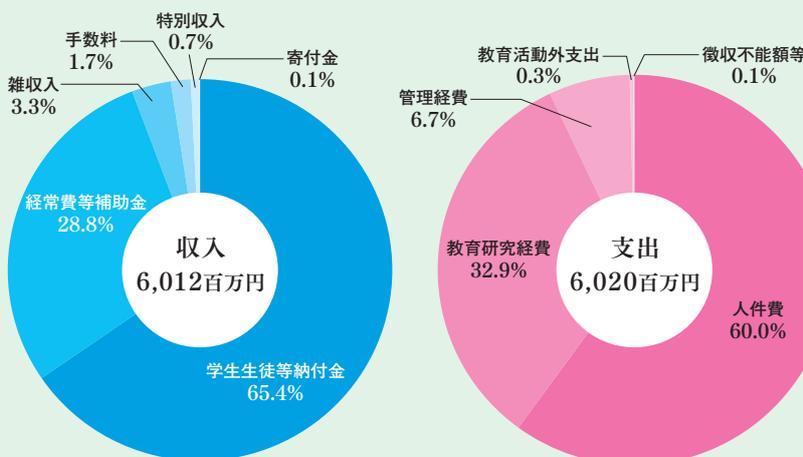
(2023年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
資産	
固定資産	40,911
有形固定資産	38,488
特定資産	2,330
その他の固定資産	93
流動資産	8,507
資産の部 合計	49,418
負債	
固定負債	3,344
流動負債	1,526
負債の部 合計	4,870
純資産	
基本金	56,245
繰越収支差額	△ 11,697
純資産の部 合計	44,548
負債および純資産の部 合計	49,418

(注) 百万円未満を四捨五入しているため、合計等に差異が生じる場合があります。

事業活動収支グラフ



【実施した主要事業】

- ・東京成徳ビジョン100・中期事業計画の推進、ブランド・ステートメントの展開
- ・学園100周年事業準備室開設
- ・大学・学園HP、学園広報誌の全面リニューアル
- ・日本高等教育評価機構の認証評価受審
- ・新学生ポータルシステム「UNIPA」導入
- ・各種留学制度の円滑な実施
- ・ICT機器を利用した授業の実践
- ・長期休園中の預かり保育の実施

2022(令和4)年度決算の事業活動収支については学生数の減少やエネルギー価格高騰等の影響により、基本金組入前当年度収支差額は8百万円の赤字、資金収支については418百万円の資金増加となりました。

詳しくは、東京成徳学園HP 事業計画・事業報告の「令和4年度事業報告書」で確認できます。



第3期中期事業計画（2023～2025年度）

本学園では、「東京成徳ビジョン100」第3期中期事業計画を見直し、スタートさせています。2015年にまとめられた「東京成徳ビジョン100」の目標をいよいよ完成させる期です。確実に達成するためにに向けた計画（概要）は次の通りです。

東京成徳ビジョン100の将来像

『成徳』の精神を持つ
グローバル人材の育成

1. 教育体制

東京成徳ビジョン100		第3期中期事業計画（2023～2025年度）	
部門	重点目標	主要戦略	主要施策
大学	社会ニーズに対応した学部・学科編成	○大学ブランド一層の強化 ○収容定員の増加を目的とし、学部・学科の新設を検討	・国際学部新カリキュラムの円滑な導入・実施 ・留学プログラムの改善検討 ・臨床と健スポの連携緊密化による教育力・研究力の向上等
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	○学生の保護者ならびに卒業生、卒業生が就職する業界との関係作りを推進	・就職・進学とのつながりの見えるカリキュラムに一層改善 ・能動的学修（アクティブラーニング）の充実 ・中退率・休学率の割合の低下促進等
	大学の発展につながるグローバル化	○「グローバル教育センター」を拠点として、国際化・グローバル化の推進	・「グローバル教育センター」を拠点とした国際化・グローバル化の推進 ・ICT関連の教育の充実
短期大学	社会ニーズに対応した学科編成	○特色ある保育者養成校として、入学から就職までの一貫した教育システムを確立	・入学生の偏差値を高め、質の高い学生の確保 ・短大の実践力や即応力、自己の特性を伸ばせる大学
	教育の質向上	○実践力・即応力・探求力を持てる学生の養成 ○アクティブラーニング授業の定着	・次回認証評価に備え、全てクリアできるよう対策 ・実習園との懇談会の充実、就職園との懇談会の開催
	就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	○ブランド力、社会的評価の体制構築 ○広い知識・専門性により高い就職率の定着	・同窓会の充実発展、卒業生の新旧間のつながりを推進 ・保育研修会の講座増・参加者増
	短期大学の発展につながるグローバル化	○グローバル教育を展開	・国際学部外国籍教員との連携によりグローバル化を推進 ・タブレット授業、大学内のポータルサイトの充実
高等学校・中学校	創造性とチャレンジ精神を涵養し主体的に学び、考え、行動する人材を育成	○建学の精神「成徳」を有し、主体的に学び、考え、行動する人材の育成 ○理数教育を改善強化、教育方法の質的転換	・建学の精神に基づく「自分を深める学習」を推進 ・探求型授業の展開 ・芸術鑑賞・行事を通じて生徒の情操教育と創造性の醸成
	グローバル人材の育成の強化を図るとともに社会的評価の獲得を目指して	○海外留学の必須化、グローバル人材育成の強化 ○ICTの活用と情報リテラシー教育推進	・留学プログラムの充実・実施 ・海外提携校の設定 ・教育環境の整備（校舎建替の検討）
	大学入試の変化等に伴う教育内容の変化への対応	○教科としての取り組み、個々の教員の指導力向上 ○進路指導の強化	・大学入学共通テスト・各大学入試内容への研究・対応 ・年度ごとに進路目標を設定し、実現に向けた取り組み強化
深谷高等学校・中学校	机上の学習をリアルな主体的実体験へ 生徒の能力や学習意欲を引き出す授業を展開する	○生徒の能力や学習意欲・主体性を引き出す授業や特別活動の展開 ○机上の学習を実体験として生かす機会の設定	・教員の授業力アップ、アクティブラーニング型授業実践、学習時間の量的・質的確保策の見直しと改善 ・ICT教育の推進および情報活用能力の向上策 ・外部連携 ・外国人教員を活用したクリル（CLIL）の実施
	外国語教育の充実・外国文化の理解などでグローバル人材育成での社会的評価の獲得	○外国語（英語）教育の充実 ○コミュニケーション能力の向上 ○外国文化・日本文化の理解	・英語検定対策講座・個人指導の充実、検定試験の種類の見直しと対策の検討 ・コミュニケーション能力向上を意識した教育活動の充実
	大学入試の変化等に伴う教育内容の変化への迅速な対応	○大学入試改革への対応 ○入試問題の分析と教育内容への反映 ○同窓会・PTA・後援会との協力関係強化	・新入試への完全対応、併設大学・短大との連携強化 ・入試問題分析・模試分析の継続 ・新学習指導要領による教育課程での学習活動の展開 ・進学センターでの進路・学習指導の実践
幼稚園	幼児教育環境の変化に対応する幼児教育のプログラムの再構築	○幼児教育カリキュラムを中心とする教育内容の改善継続 ○グローバル対応プログラムの実施	・新園舎での新カリキュラム ・これまでの本幼稚園の取り組んできた幼児教育カリキュラムを中心とする教育内容の改善継続
	大学、短期大学等との連携の深化	○大学・短大からの指導援助を受けながら改善に努め、両者の実習園としての機能維持	・大学・短大との教育連携の中で新しい教育の検討

2. 経営基盤

重点目標	主要戦略	主要施策
大学の段階的な規模拡大による学園規模の拡大	「東京成徳」ブランドの確立を図り、学園全体として規模の維持・拡大を推進	・教育機関としての使命の達成、財政的基盤の重要性 ・高等教育部門の安定的定員確保
社会的ニーズに対応した戦略的な施設・設備の整備	創立100周年事業を展望した設備の整備計画を推進	・各校の将来像実現に向け、ICTインフラの充実、グローバル教育の環境整備
安定的な財務	創立100周年事業に備えた財源確保	・「東京成徳」ブランドの確立と浸透、募集活動の強化
活力を生む人事制度	雇用関係の社会環境、法令等の変化を踏まえた人事・給与制度の見直し	・教育の質改善に関連しての人材の確保 ・メリハリのある給与体系の検討

3. ネットワーク

重点目標	主要戦略	主要施策
創立100周年に向けて、学園の教育及び経営基盤を支えてきた、「オール東京成徳」のネットワーク強化、地域社会との連携取り組み積極化	○学園創立100周年と各校周年行事との連携したイベントの開催 ○地域社会との交流をテーマとしたイベントの開催 ○部門ごとに同窓会活動の活性化	・部門間交流と共通認識醸成の機会拡大 ・高大接続、入試改革の観点から定期的な連携活動の深化 ・同窓会組織の充実 ・創立100周年事業等の記念事業の検討

2023(令和5)年度事業計画(抜粋)

部門	ビジョン100重点目標	2023(令和5)年度主要事業の内容
大学	社会ニーズに対応した学部・学科編成	<ul style="list-style-type: none"> 国際学部1年生新カリキュラムを適用、新規留学先等の開拓による留学プログラムの充実 SAの利用によるICT教育の充実、全学的なICT認定制度(試験)の試行的な実施 新「教学・学生情報システム」により学修成果・学修到達度を学生個人にfeedback
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> DS (Diploma Supplement)を整備し全学部で発行 ICT教育のために必要な設備・機材の整備・充実 3ポリシー、教育課程、授業内容及び方法等の改善、PDCAサイクルの機能を実質的化し、特にA(改善)への道筋と評価の明確化 経営学部科目の内容について見直し、実体験型の授業機会を増やす方向を検討 国際学部新カリキュラムに基づき、「数理の基礎」(1年次選択)を開設
	大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> グローバル教育センターの夏季海外短期研修への参加促進、English loungeの活動の拡大・推進 ICT関連の全学的な講習会の立案と試行的な実施。ICT関連の認定試験の実施開始
短期大学	社会ニーズに対応した学科編成	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・文章表現力・説明力を問う入試問題、質の高い学生・アドミッション・ポリシーに適合する学生の確保 学生から本学の魅力・アピールポイントを募集、キャッチコピーやマスコット・関連グッズ製作等
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 学修成果の見える化等課題になっている点を強化 子ども学部と協力して実習園との懇談会を復活、園と大学とのつながりの定着化 100周年記念事業に向け卒業生との連絡を復活、卒業生と対面・ネットでのつながりを推進 オンラインの利点を生かし、保育研修会の講座増、参加者増を図る
	短期大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 全学で実施の英語教育講座の受講推進、オンラインで海外の保育事情を学ぶ機会を継続実施 新科目「幼児英語の指導法」開設に向け検討 「情報機器の操作」の演習内容を修正し、タブレットやPCを使用した授業を展開
高等学校・中学校	創造性と チャレンジ精神を涵養し 主体的に学び、考え、 行動する人材を育成	<ul style="list-style-type: none"> 「自分を深める学習」の深化・充実、「個の確立」、より主体的に学び、考え、行動できるよう指導 探求型授業の展開 ミュージカル、歌舞伎鑑賞などを実施 課外活動、学校行事等で生徒の主体性を育てる、生徒相互のコミュニケーション・連帯を深化
	グローバル人材の 育成の強化を図るとともに 社会的評価の獲得を目指して	<ul style="list-style-type: none"> 新留学プログラムの実施(中2全員セブ語学研修、中3NZ3か月希望者)、高等部留学プログラムの充実 創立100周年事業として教育環境の整備(校舎建替の検討)
	大学入試の変化等に伴う 教育内容の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 大学入学共通テスト対策、各大学の推薦入試、総合選抜入試への対応、研究 各大学の入試問題の変化を捉え、研究的確な対応を図る 成果を得るために、より細やかな目標設定と指導
深谷高等学校・中学校	机上の学習をリアルな 主体的実体験へ 生徒の能力や学習意欲を 引き出す授業を展開	<ul style="list-style-type: none"> 校外先進校視察研修、オンライン教育研修、校内互見授業などによるさらなる授業改善の継続 学力の3要素に基づく授業の量的・質的向上、ICT教育の環境整備とe-ラーニングの着実な推進 全教員によるアクティブラーニング型授業の実践と公開授業・研修の推進 外国人教員を活用したクリル(CLIL*)の実践
	外国語教育の充実・ 外国文化の理解などで グローバル人材育成での 社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 英語検定対策講座と個人指導の充実、2次試験対策個人指導を計画的に実施 英語によるスピーチコンテスト・プレゼンコンテスト・ディスカッション等の実施と内容の充実 校内外の研修や先進校視察等による指導力アップ、外国人教員の協力による疑似留学体験の実施
	大学入試の変化等に伴う 教育内容の変化への迅速な 対応	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試改革への完全対応、英語4技能向上・資格取得に向けた指導の充実 新学習指導要領による新教育課程移行への確実な移行、「総合的な探求の時間」の効果的な実践 「進学センター」にて、課外の講座を開講、個別指導教室の開設
幼稚園	幼児教育環境の変化に 対応する幼児教育の プログラムの再構築	<ul style="list-style-type: none"> 新園での教育の可能性の工夫、園児の自発性 これまでの本幼稚園の取り組んできた幼児教育カリキュラムを中心に教育内容の改善を継続
学園	グローバル人材育成のため、 学園全体の教育環境を 重点的に整備する	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標との関連付けを行い、ブランド・ステートメントに沿った教育を実践 語学学修環境の充実、ICT教育・プログラミング教育の充実 英語コミュニケーション環境の整備を継続

*CLIL (Content and Language Integrated Learning) : 他教科科目(理科や社会科など)やテーマの内容の学習と外国語(主に英語)の学習を組み合わせた学習。

役員・評議員の改選

2023(令和5)年3月および4月に開催された学園理事会・評議員会において、理事、評議員の退任に伴う選任が行われ、下表のとおり決定しました。

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内 秀 樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	吉田富二雄	大学長
理事・評議員	○石川 薫	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	木内 雄 太	法人本部副本部長、中学校・高等学校教諭、幼稚園副園長
理事・評議員	関 博 光	法人事務局長
理事・評議員	前田 雅 久	東京都立大学法科大学院名誉教授・講師 ※
理事・評議員	青柳 晴 久	赤城印刷株式会社代表取締役 ※
理事・評議員	柳澤 裕	三菱UFJ証券ホールディングス株式会社取締役 ※
監 事	黒崎 康 夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
監 事	石山 賢	前 法人事務局長

(注) 選任区分順、○：新任者、※：学外理事

役職	氏名	現職
評 議 員	村山 純	大学副学長、経営学部長
評 議 員	一谷 幸男	大学応用心理学部長・臨床心理学科長
評 議 員	小林 雅央	大学事務局長、短期大学事務局長
評 議 員	染谷 一子	中学・高等学校同窓会長
評 議 員	遠藤 洋子	短期大学同窓会長
評 議 員	藪崎 精克	学園後援会長、株式会社藪崎工務店代表取締役
評 議 員	石隈 利紀	大学院心理学研究科長
評 議 員	津島 泰雄	津島歯科医院長
評 議 員	○堀 和明	大学子ども学部長
評 議 員	松本 純子	短期大学幼児教育科長
評 議 員	木内万里夫	住友精密工業株式会社、グロービス経営大学院大学教授

就任

理事・評議員 石川 薫

埼玉県立高校教諭、不動岡誠和高等学校教頭、誠和福祉高等学校教頭、鴻巣女子高等学校長を歴任。埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課教育指導幹・課長、総合教育センター所長、教育局県立学校部長を経て、2023年より現職。

評議員 堀 和明

1983年に短期大学幼児教育科専任講師として着任。人文学部助教授、短期大学幼児教育科教授、子ども学部教授、子ども学科長を経て、2023年より現職。

深谷中・高等学校顧問の委嘱

神田前深谷中高校長に東京成徳大学深谷中学・高等学校顧問を委嘱しました。神田前校長には、引き続き、同校ならびに東京成徳学園の運営・教育研究の発展のために、助言・指導をいただくことになります。

退任

理事・評議員 神田 正

2014年4月より東京成徳大学深谷中学・高等学校長として着任。同年より学園理事、評議員。

評議員 永井 聖二

2004年に子ども学部教授として着任。子ども学科主任、学科長を経て、2011年より子ども学部長、学園評議員。

前列左から神田前理事、木内学園長、永井前評議員、後列中央は木内理事長。



表彰・受賞のご紹介

「埼玉・教育ふれあい賞」を東京成徳大学深谷高等学校保育系クラスが受賞しました

11月1日「彩の国教育の日」に、2022(令和4)年度「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞しました。この賞は日々の教育活動に積極的に取り組み、著しい成果を上げている学校・団体に対して、埼玉県が表彰するものです。埼玉県内の35の学校・団体が表彰となりましたが、本校は「保育者としての自覚と使命を実体験の中で育む教育」の取り組み内容が評価され、このたびの受賞となりました。



(埼玉県HP掲載)

表紙について

大学開学30周年を迎える東京キャンパス

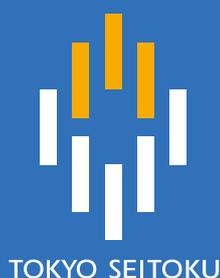
大学・短大の正門を真っすぐ進んだ先、1～3号館に囲まれた空間。ここに置かれた色鮮やかなパラソルが目を惹きます。写真手前の黄色のパラソルと青空のコントラストは印象的でした。東京キャンパスでは、今年大学が30周年、2025年に短大が60周年を迎えます。



採用	徐 映京	東京成徳大学	国際学部国際学科助教	青木 楓夏	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師
	沢宮 容子	東京成徳大学	応用心理学部臨床心理学科教授	武田 優太郎	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師
	金山 三恵子	東京成徳大学	子ども学部子ども学科教授	石川 薫	東京成徳大学深谷中学・高等学校	校長
	土屋 佳雅里	東京成徳大学	子ども学部子ども学科准教授	河野 京子	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	吉田 久実	東京成徳大学	子ども学部子ども学科助教	池内 青海	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	青木 洋子	東京成徳大学	子ども学部子ども学科助教	大澤 拓記	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	古橋 真紀子	東京成徳短期大学	幼児教育科准教授	島田 拓弥	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	田尻 由起	東京成徳短期大学	幼児教育科助教	稲垣 いつき	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	和田 幸久	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師	藤井 美紗子	成徳幼稚園	教諭
	越山 恵梨菜	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師	只野 右晏	成徳幼稚園	教諭
	及川 智洋	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師	佐藤 美涼	成徳幼稚園	教諭
	及川 響	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師	石川 明	東京成徳大学深谷中学・高等学校	事務長
	松浦 光希	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師	町田 沙耶	東京成徳大学深谷中学・高等学校	事務部
	川上 武士	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師			

退職	李 允希	東京成徳大学	国際学部国際学科教授	廣重 求	東京成徳大学中学・高等学校	教諭
	小林 規江	東京成徳大学	応用心理学部臨床心理学科特任准教授	馬場 隆	東京成徳大学中学・高等学校	教諭
	木幡 日出男	東京成徳大学	応用心理学部健康・スポーツ心理学科長・教授	田村 遼司	東京成徳大学中学・高等学校	教諭
	永井 聖二	東京成徳大学	子ども学部長・教授	松沼 克門	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師
	益田 早苗	東京成徳大学	子ども学部子ども学科教授	森下 登希子	東京成徳大学中学・高等学校	専任講師
	細田 成子	東京成徳大学	子ども学部子ども学科助教	神田 正	東京成徳大学深谷中学・高等学校	校長
	田中 浩二	東京成徳短期大学	幼児教育科特任教授	石川 実	東京成徳大学深谷中学・高等学校	教諭
	松本 紀子	東京成徳短期大学	幼児教育科助教	中島 優香	東京成徳大学深谷中学・高等学校	教諭
	渡邊 晶	東京成徳短期大学	幼児教育科助教	福島 琢	東京成徳大学深谷中学・高等学校	専任講師
	大池 秀樹	東京成徳大学中学・高等学校	教諭	萩原 敏行	東京成徳大学深谷中学・高等学校	事務長補佐

就任	塙 和明	東京成徳大学	子ども学部長・教授 (子ども学部子ども学科長・教授)	昇任	柴田 真美	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	キャリア支援課課長 (キャリア支援課係長)
	富山 尚子	東京成徳大学	子ども学部子ども学科長・教授 (子ども学部子ども学科教授)		氏家 典子	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	入試広報課主任 (入試広報課員)
	出雲 輝彦	東京成徳大学	応用心理学部健康・スポーツ心理学科長・教授 (応用心理学部健康・スポーツ心理学科教授)		遠藤 岳也	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	学修支援課主任 (学修支援課員)
	樋口 徹	東京成徳大学	経営学部経営学科長・教授 (経営学部経営学科教授)		三輪 晋督	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	教務課主任 (教務課員)
	茂呂 雄二	東京成徳大学	入試・広報センター長		島田 友子	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	総務課主任 (キャンパスライフ支援課員)
	宮澤 俊憲	東京成徳大学	入試・広報センター副センター長		渡邊 清泉	東京成徳大学・ 東京成徳短期大学	総務課主任 (総務課員)
発令	長島 怜央	東京成徳大学	国際学部国際学科准教授 (国際学部国際学科特任准教授)	田中 希実	東京成徳大学中学・ 高等学校	教諭 (専任講師)	
	吉村 善也	東京成徳大学深谷中学・ 高等学校	事務長補佐 (事務長)	今井 梨乃	東京成徳大学中学・ 高等学校	教諭 (専任講師)	
異動	青柳 隆志	東京成徳大学	国際学部国際学科教授 (人文学部長・日本伝統文化学科長・教授)	新井 啓一郎	東京成徳大学深谷中学・ 高等学校	教諭 (専任講師)	
	堤 孝晃	東京成徳大学	応用心理学部臨床心理学科准教授 (子ども学部子ども学科准教授)				



私たちは約束します。

ブランド・ステートメント

多様性の中で共生し、
新たな自分を発見するとともに、
自らの信念をもって

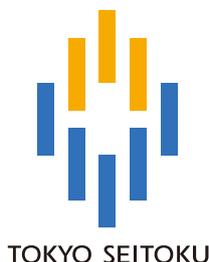
未来をデザインする人材を育成します。

グローバル化が加速する現代社会では、人種や国籍、宗教、性別、価値観などの多様性を受け入れ、必要な助け合いをしながら生きていく共生を、学問や経験を通じて学ぶことが大切です。

この学びや経験を通じて、これまでの殻を打ち破る新しい自分の使命や役割を探り当て、確固たる自分自身の信念のもと、自分の未来、自分たちの社会の未来を描き、切り拓いていく人材を、東京成徳では育成します。

編集後記

昨年度まで制限のあった多くの学校行事が、今年度はコロナ以前に近い形で実施ができています。新型コロナウイルスの「5類」移行を受け、各所に設置されていた消毒液やアクリル板の多くも撤去されています。マスクなしの笑顔の学生、生徒を見て、うれしく思う日々。この生活を続けるべく、手洗い、うがいは継続しよう、と思います。皆さんもぜひ！(企画調査室 龍野)



TOKYO SEITOKU

学校法人 東京成徳学園

www.tokyoseitoku.ac.jp

- 東京成徳大学
- 東京成徳大学大学院
- 東京成徳短期大学

東京キャンパス(十条) 東京都北区十条台1-7-13

TEL 03-3908-4530 URL www.tsu.ac.jp

- 東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 東京都北区豊島8-26-9

TEL 03-3911-2786 URL www.tokyoseitoku.jp/js/

高等部 東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3911-5196 URL www.tokyoseitoku.jp/hs/

- 東京成徳大学深谷中学・高等学校

埼玉県深谷市宿根559

TEL (中学) 048-573-1784 URL (中学) www.tsfj.jp/top

(高校) 048-571-1303 (高校) www.tsfh.jp

- 成徳幼稚園

東京都北区豊島8-24-2

TEL 03-3911-6337 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/

- 東京成徳スイミングスクール

東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3914-2383 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/swimming/

東京成徳学園後援会のご案内

東京成徳学園の使命達成のため、オール東京成徳で尽力しようと幼稚園から大学院まで学園全体の後援組織として、ご賛同いただく会員を募り組織した後援会です。趣旨をご理解いただき、ぜひご参加ください。

東京成徳学園後援会 目的および事業

(東京成徳学園後援会会則より)

本会は会員相互の親睦を図り、併せて学園の発展に寄与することを目的とし、次の事業を立案実施する。

1. 学園行事への参加協力。
2. 在学生の研究活動、部活動の助成。
3. 卒業生進路への協力。
4. 会員の親睦会、研修会の開催。

入会に関するお問い合わせ

TEL 03-3911-5196 担当 大橋、遠藤(事務)

読者アンケートのお願い

「TOKYO SEITOKU NOW」をご覧いただき、誠にありがとうございます。今後の発行に向け、より良い紙面作りをするために、皆さまの感想をぜひお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※お寄せいただいた個人情報は、今後の広報誌作成の参考に利用するものであり、それ以外の目的で使用するものではありません。



QRコードからご回答いただけます。

